

知っておこう! 周術期管理

臨床検査技師にとって、周術期管理という言葉は聞いたことはあっても、その内容までは詳しく認識できていないという方が少なくないと思います。術前検査では採血や心電図などで臨床検査技師が携わりますが、周術期管理とは術前はもとより、術中・術後までチームとして患者をサポートすることによって、安全で質の高い手術を実施するものであると考えています。

本特集では、「知っておこう! 周術期管理」と題しまして、周術期管理の概要と臨床検査のかかわりを、全身麻酔時の術前・中・後の臨床検査による評価を中心に、執筆をお願い致しました。特に今回は、臨床検査技師とあまり接点のない麻酔科医の先生方に、実際の現場で行われている臨床検査を詳細に解説していただきました。

周術期管理をご存じの方も、そうでない方も、興味深くご覧いただける内容となっています。皆さんのスキルアップの一助となれば幸いです。

河合昭人(東京慈恵会医科大学附属病院中央検査部)